

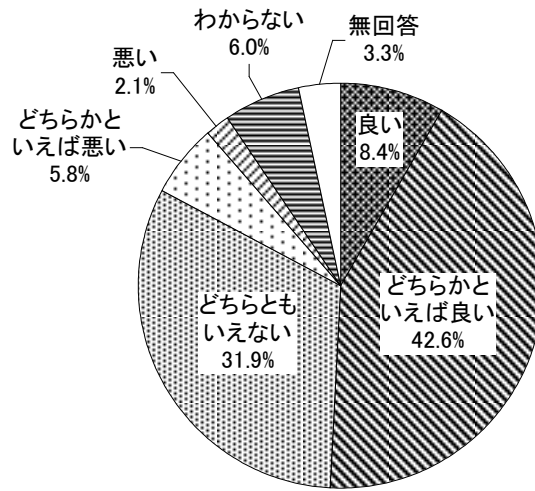
15 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況

問39 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

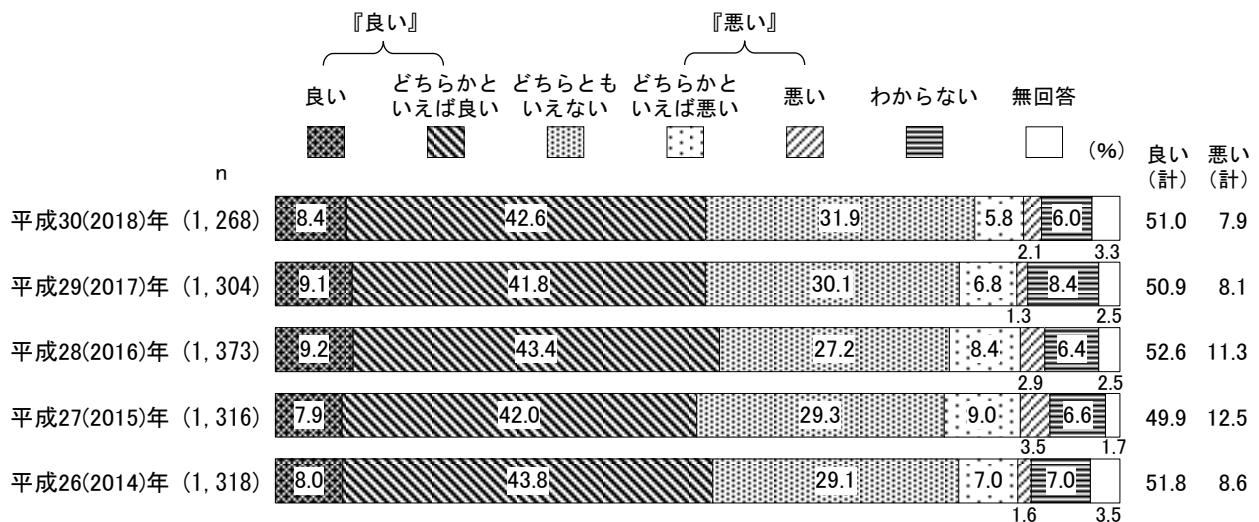
[n=1,268]

1 良い	8.4%	4 どちらかといえば悪い	5.8%
2 どちらかといえば良い	42.6%	5 悪い	2.1%
3 どちらともいえない	31.9%	6 わからない	6.0%
		(無回答)	3.3%



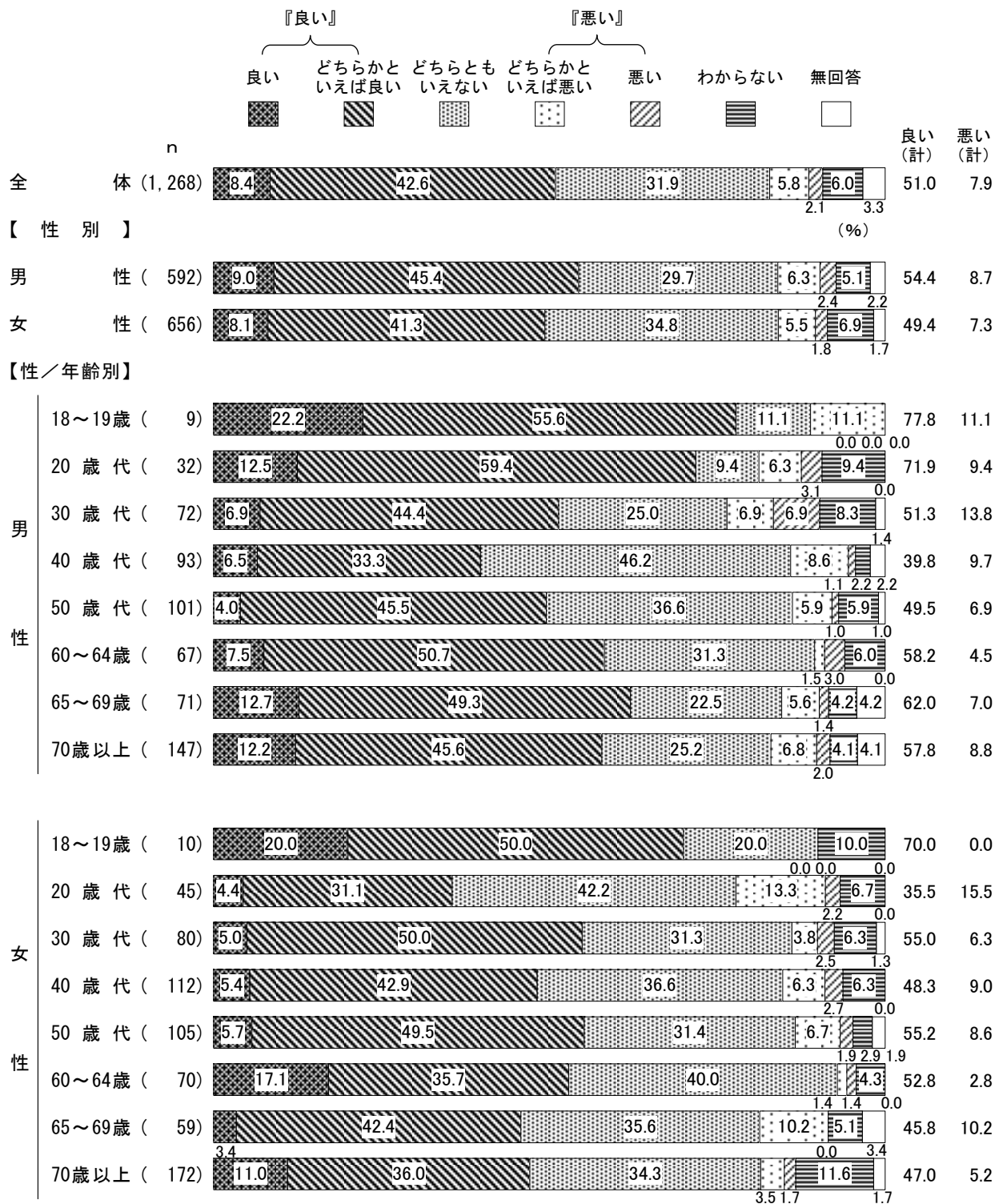
(n=1,268)

全体でみると、「良い」(8.4%)と「どちらかといえば良い」(42.6%)の2つを合わせた『良い』(51.0%)は5割を超えている。一方、「どちらかといえば悪い」(5.8%)と「悪い」(2.1%)の2つを合わせた『悪い』(7.9%)は1割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(31.9%)は3割を超えている。



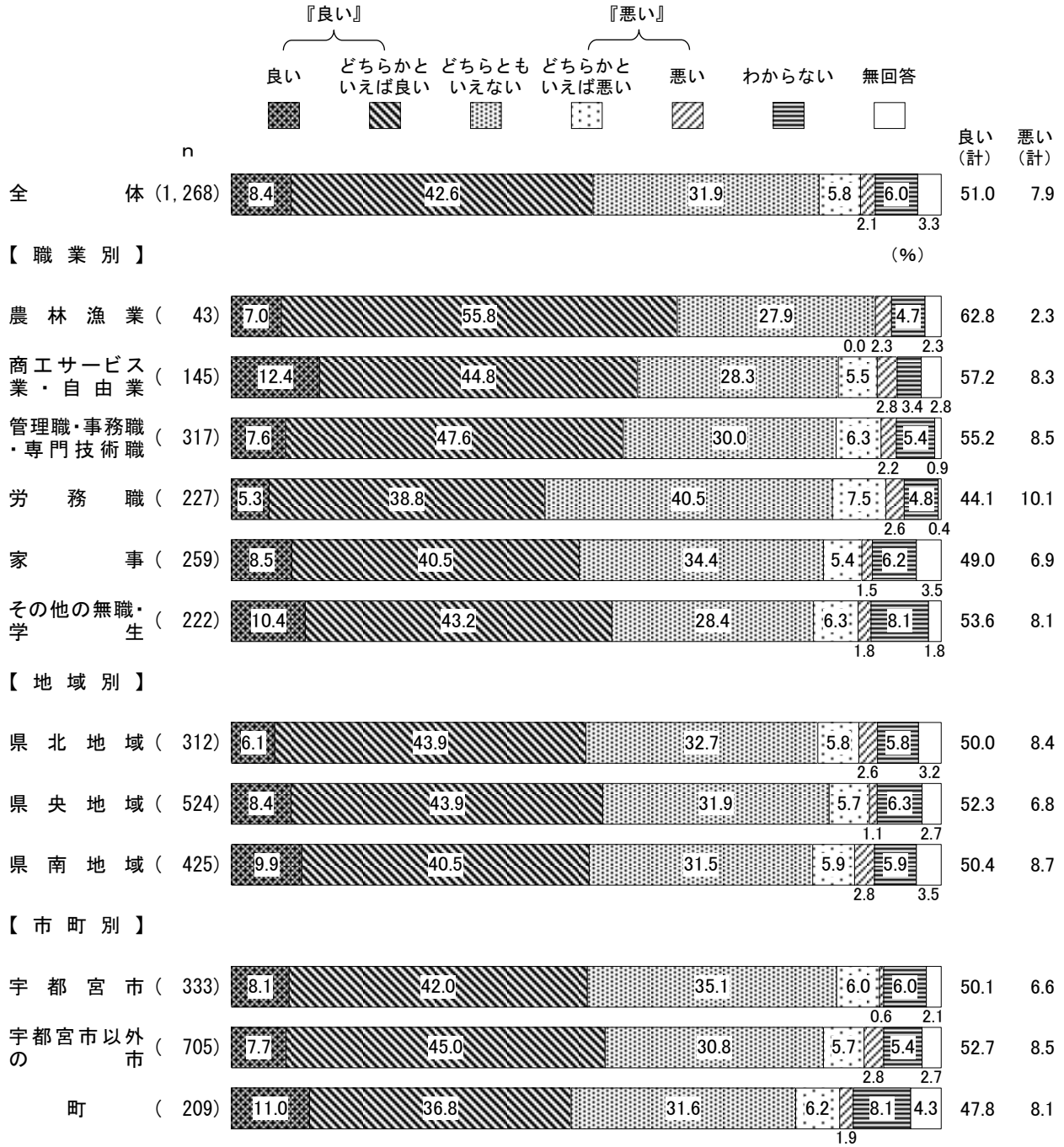
過去の調査結果と比較すると、平成29(2017)年と比べて大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『良い』では〈男性〉(54.4%)が〈女性〉(49.4%)より5.0ポイント高くなっている。
 性／年齢別で見ると、『良い』では〈男性20歳代〉が71.9%、〈男性65～69歳〉が62.0%と高くなっている。
 一方、『悪い』では〈女性20歳代〉が15.5%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『良い』では〈農林漁業〉が62.8%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

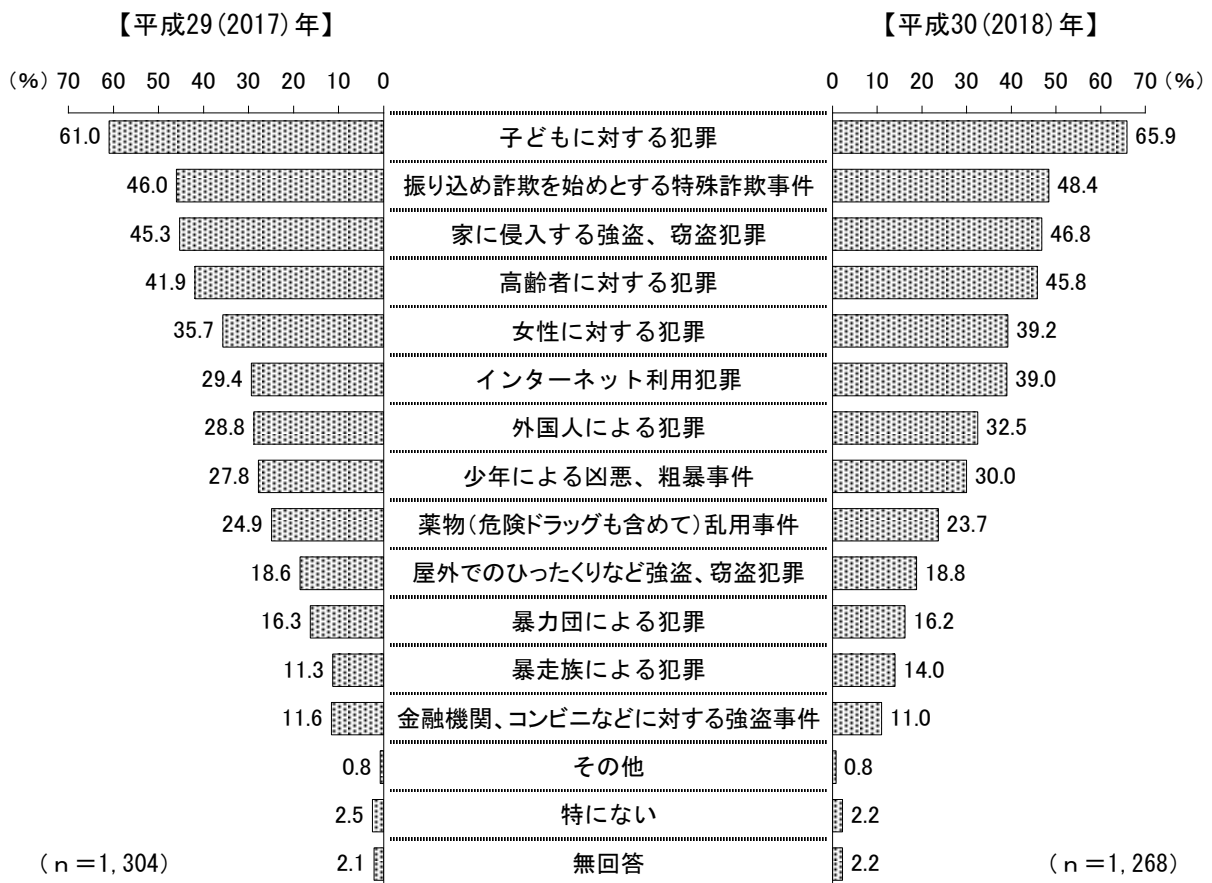
市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 不安を感じる犯罪

問40 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,268]

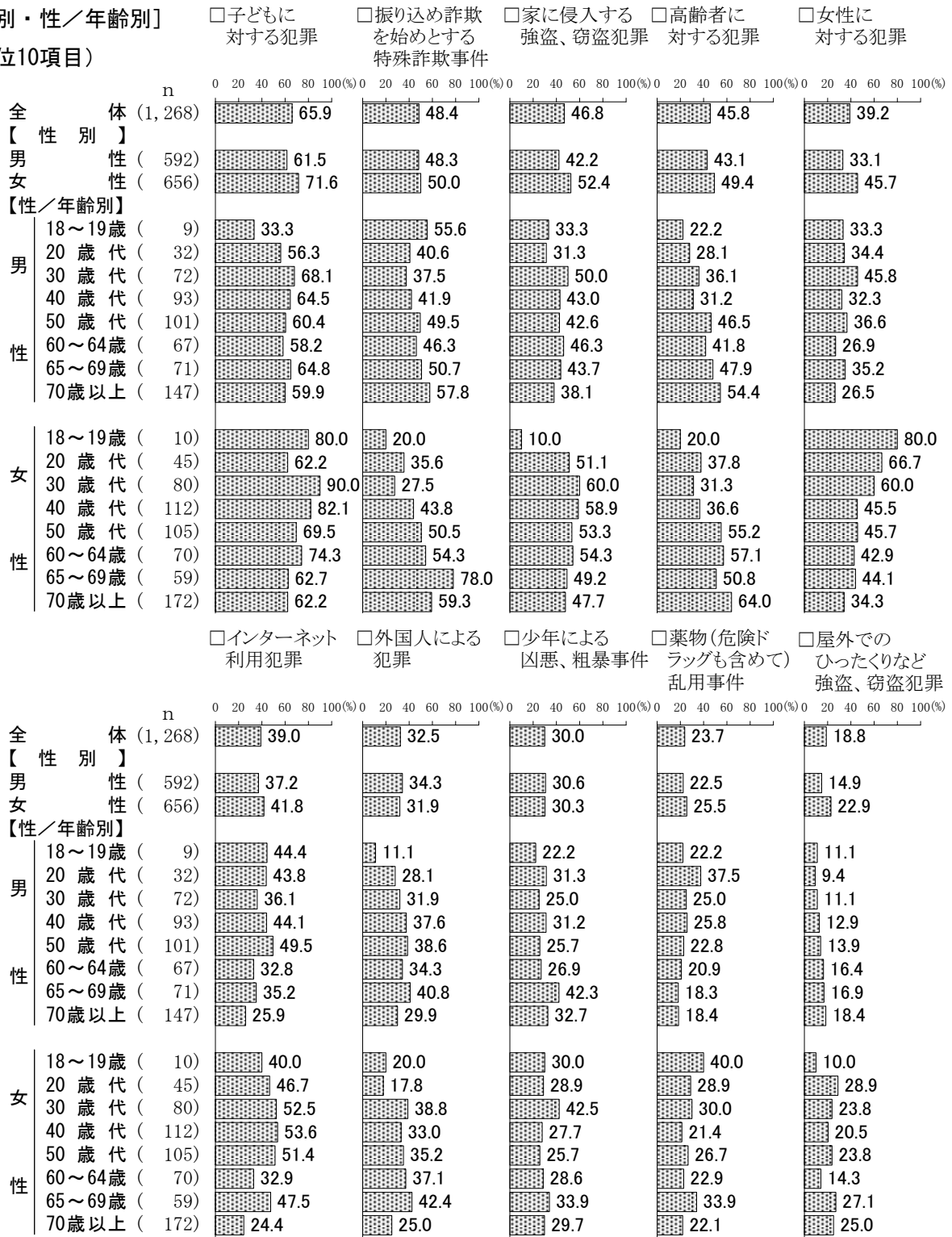
1	子どもに対する犯罪	65.9%	8	暴力団による犯罪	16.2%
2	女性に対する犯罪	39.2	9	暴走族による犯罪	14.0
3	高齢者に対する犯罪	45.8	10	家に侵入する強盗、窃盗犯罪	46.8
4	振り込め詐欺を始めとする 特殊詐欺事件	48.4	11	屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪	18.8
5	金融機関、コンビニなどに対する 強盗事件	11.0	12	薬物(危険ドラッグも含めて)乱用事件	23.7
6	少年による凶悪、粗暴事件	30.0	13	インターネット利用犯罪	39.0
7	外国人による犯罪	32.5	14	その他	0.8
			15	特にない	2.2
				(無回答)	2.2



全体で見ると、「子どもに対する犯罪」(65.9%)が6割半ばで最も高く、次いで「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」(48.4%)、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」(46.8%)、「高齢者に対する犯罪」(45.8%)、「女性に対する犯罪」(39.2%)、「インターネット利用犯罪」(39.0%)の順となっている。

平成29(2017)年の調査結果と比較すると、「インターネット利用犯罪」が9.6ポイント、「子どもに対する犯罪」が4.9ポイント、「高齢者に対する犯罪」が3.9ポイント、「外国人による犯罪」が3.7ポイント、「女性に対する犯罪」が3.5ポイント、それぞれ減少している。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

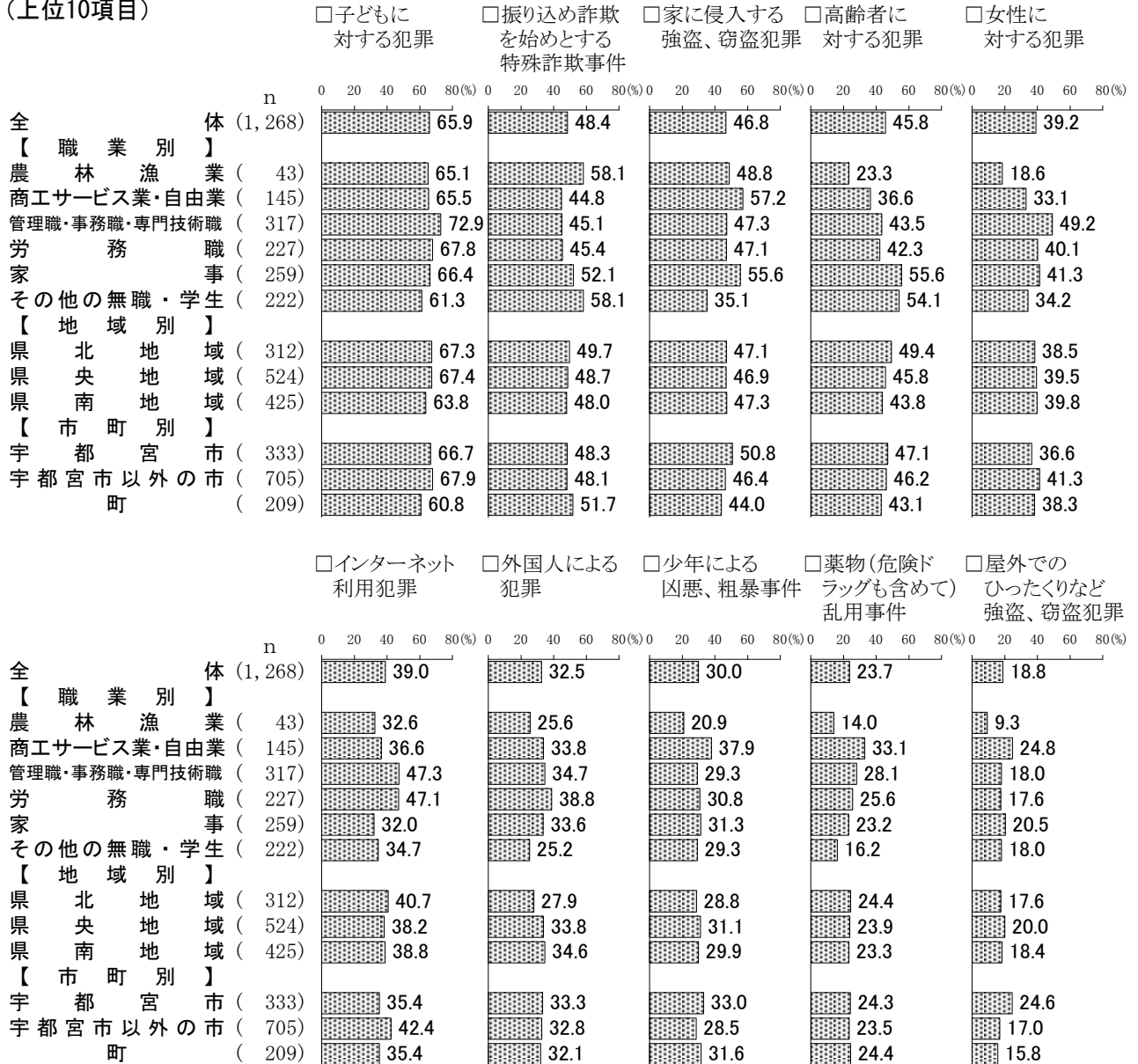


性別で見ると、「女性に対する犯罪」では〈女性〉(45.7%)が〈男性〉(33.1%)より12.6ポイント高くなっている。「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では〈女性〉(52.4%)が〈男性〉(42.2%)より10.2ポイント高くなっている。「子どもに対する犯罪」では〈女性〉(71.6%)が〈男性〉(61.5%)より10.1ポイント高くなっている。「屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪」では〈女性〉(22.9%)が〈男性〉(14.9%)より8.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「子どもに対する犯罪」では〈女性30歳代〉が90.0%、〈女性40歳代〉が82.1%と高くなっている。「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」では〈女性65~69歳〉が78.0%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈女性70歳以上〉が64.0%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈女性20歳代〉が66.7%、〈女性30歳代〉が60.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「子どもに対する犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が72.9%と高くなっている。「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」では〈農林漁業〉と〈その他の無職・学生〉がともに58.1%と高くなっている。「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では〈商工サービス業・自由業〉が57.2%、〈家事〉が55.6%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈家事〉が55.6%、〈その他の無職・学生〉が54.1%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が49.2%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.3%、〈労務職〉が47.1%と高くなっている。「薬物(危険ドラッグも含めて)乱用事件」では〈商工サービス業・自由業〉が33.1%と高くなっている。

地域別でみると、「高齢者に対する犯罪」では〈県北地域〉が49.4%と高くなっている。

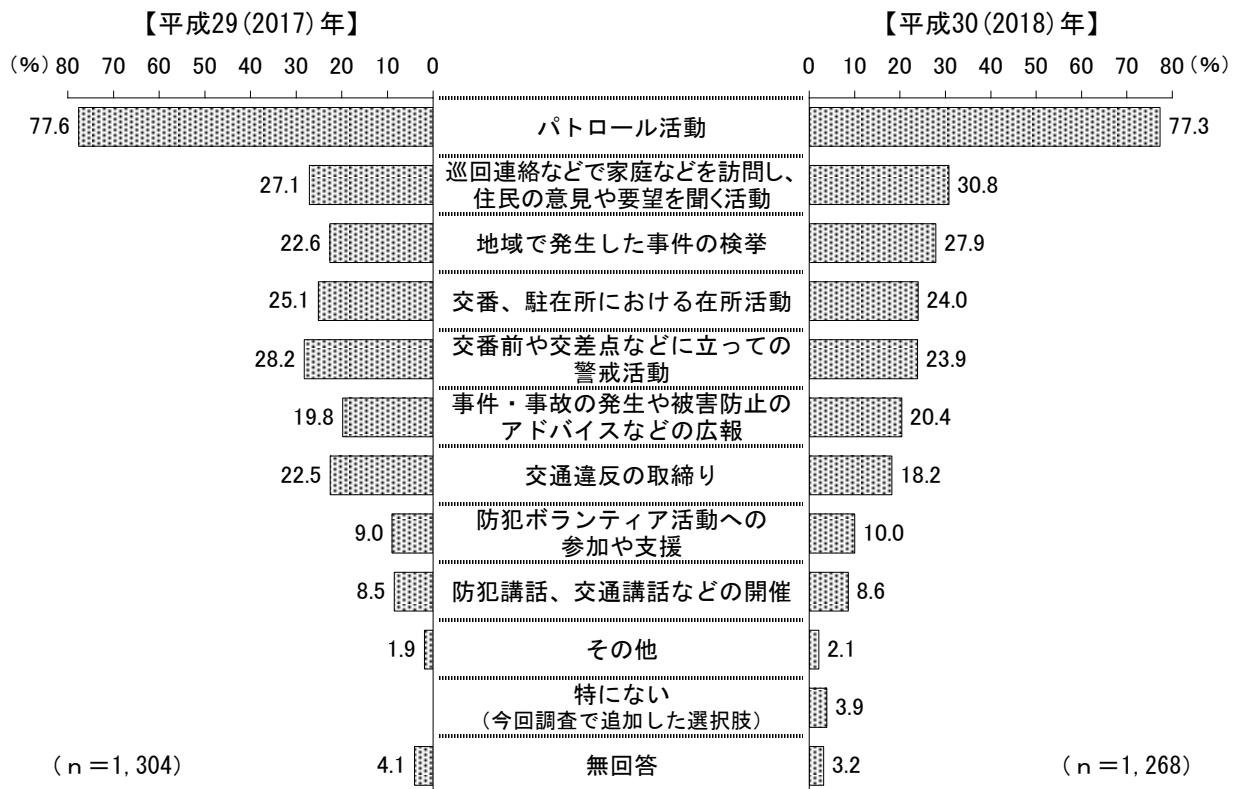
市町別でみると、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では〈宇都宮市〉が50.8%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈宇都宮市以外の市〉が42.4%と高くなっている。

(3) 交番や駐在所の警察官に特に力を入れてほしい活動

問41 あなたが、交番や駐在所の警察官に特に力を入れてほしい活動は何ですか。次の中からいくつかも選んでください。

[n=1,268]

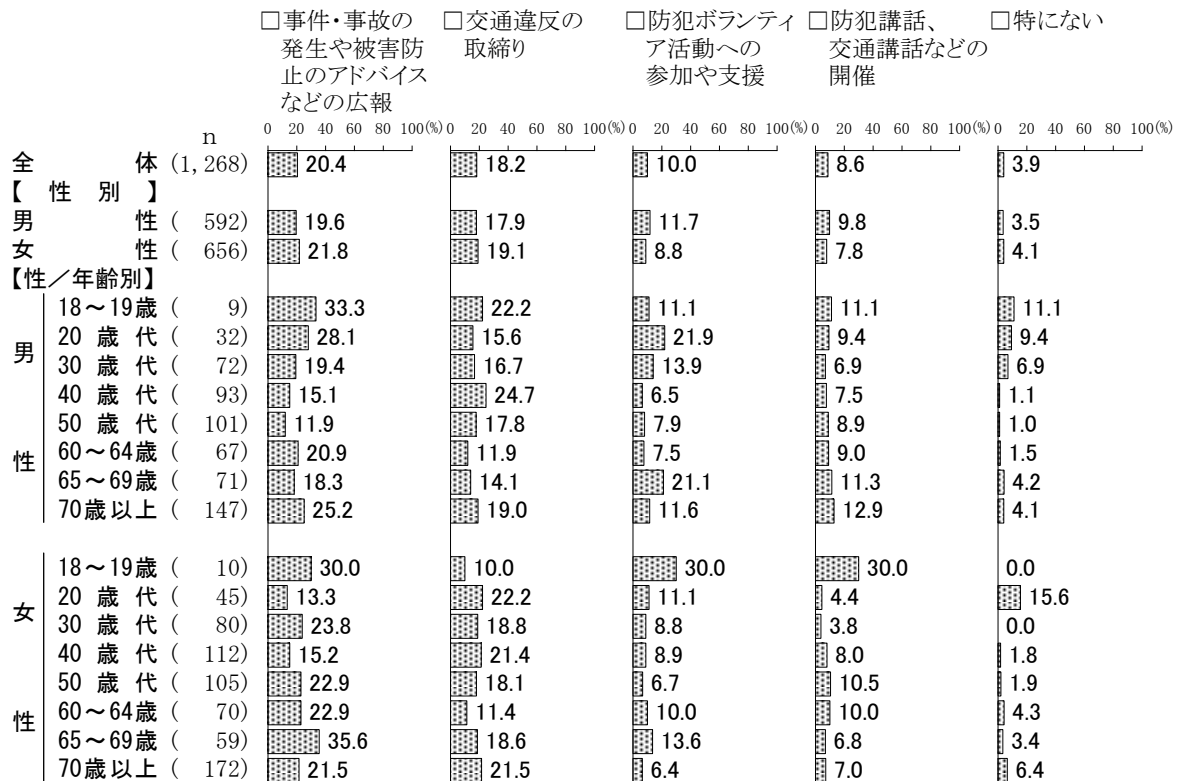
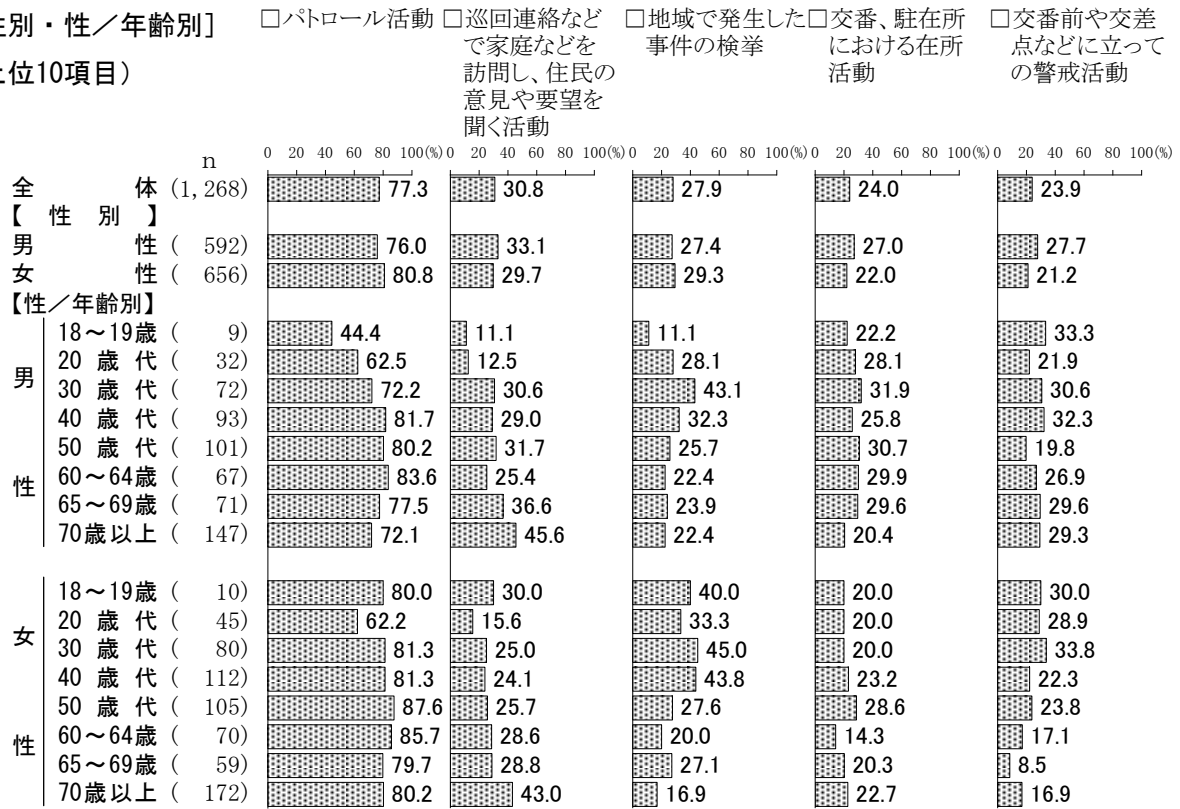
1	パトロール活動	77.3%
2	交番、駐在所における在所活動	24.0
3	巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動	30.8
4	交番前や交差点などに立っての警戒活動	23.9
5	事件・事故の発生や被害防止のアドバイスなどの広報	20.4
6	地域で発生した事件の検挙	27.9
7	交通違反の取締り	18.2
8	防犯講話、交通講話などの開催	8.6
9	防犯ボランティア活動への参加や支援	10.0
10	その他	2.1
11	特にない	3.9
	(無回答)	3.2



全体でみると、「パトロール活動」(77.3%)が8割近くで最も高く、次いで「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」(30.8%)、「地域で発生した事件の検挙」(27.9%)、「交番、駐在所における在所活動」(24.0%)、「交番前や交差点などに立っての警戒活動」(23.9%)の順となっている。

平成29(2017)年の調査結果と比較すると、「地域で発生した事件の検挙」が5.3ポイント、「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」が3.7ポイント、それぞれ増加している。一方、「交番前や交差点などに立っての警戒活動」と「交通違反の取締り」がともに4.3ポイント減少している。

[性別・性/年齢別]
(上位10項目)

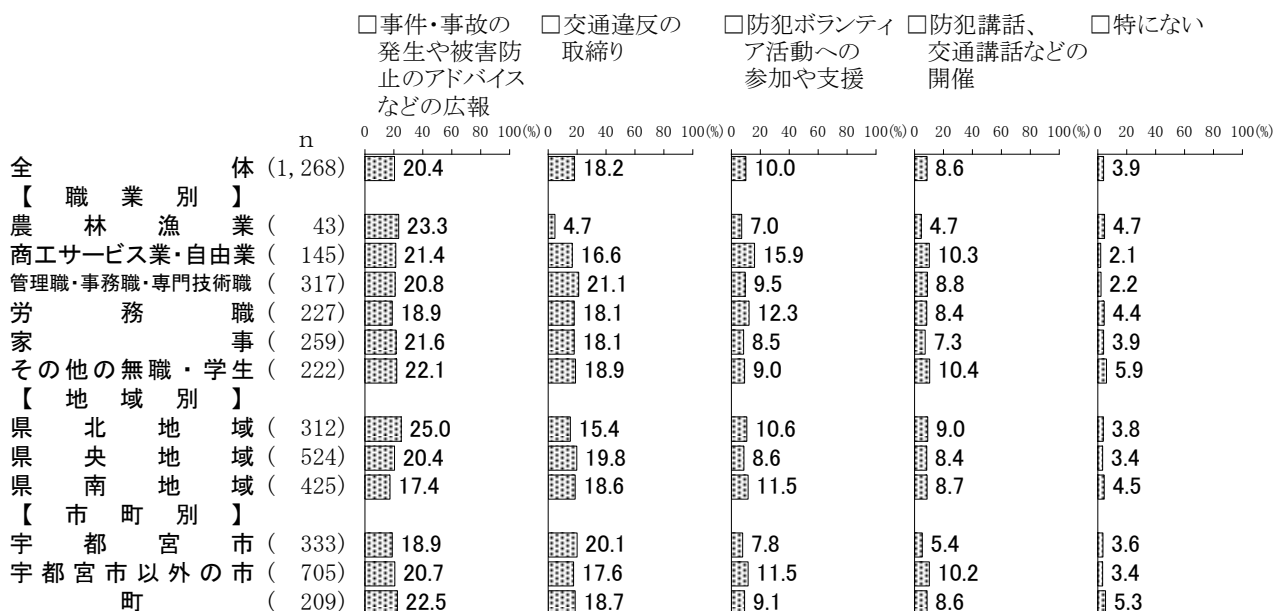
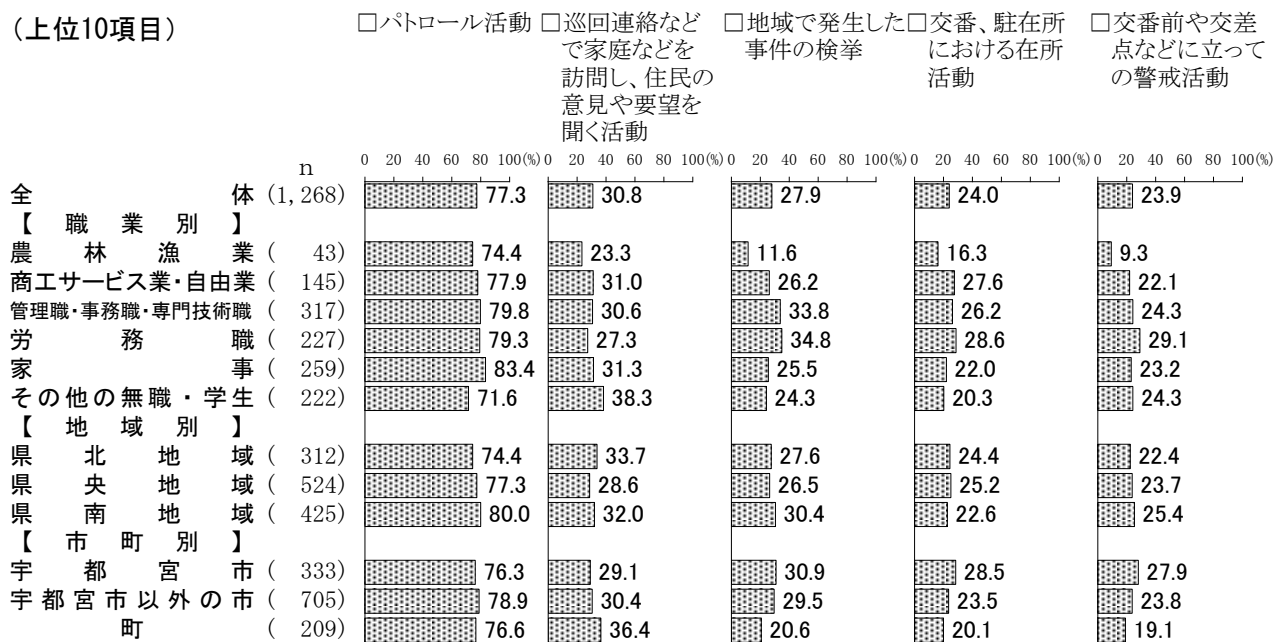


性別でみると、「交番前や交差点などに立っての警戒活動」では〈男性〉(27.7%)が〈女性〉(21.2%)より6.5ポイント高くなっている。「交番、駐在所における在所活動」では〈男性〉(27.0%)が〈女性〉(22.0%)より5.0ポイント高くなっている。「パトロール活動」では〈女性〉(80.8%)が〈男性〉(76.0%)より4.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では〈男性70歳以上〉が45.6%、〈女性70歳以上〉が43.0%と高くなっている。「地域で発生した事件の検挙」では〈女性30歳代〉が45.0%、〈女性40歳代〉が43.8%、〈男性30歳代〉が43.1%と高くなっている。「事件・事故の発生や被害防止のアドバイスなどの広報」では〈女性65~69歳〉が35.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「パトロール活動」では〈家事〉が83.4%と高くなっている。「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では〈その他の無職・学生〉が38.3%と高くなっている。「地域で発生した事件の検挙」では〈労務職〉が34.8%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が33.8%と高くなっている。

地域別で見ると、「パトロール活動」では〈県南地域〉が80.0%と高くなっている。「事件・事故の発生や被害防止のアドバイスなどの広報」では〈県北地域〉が25.0%と高くなっている。

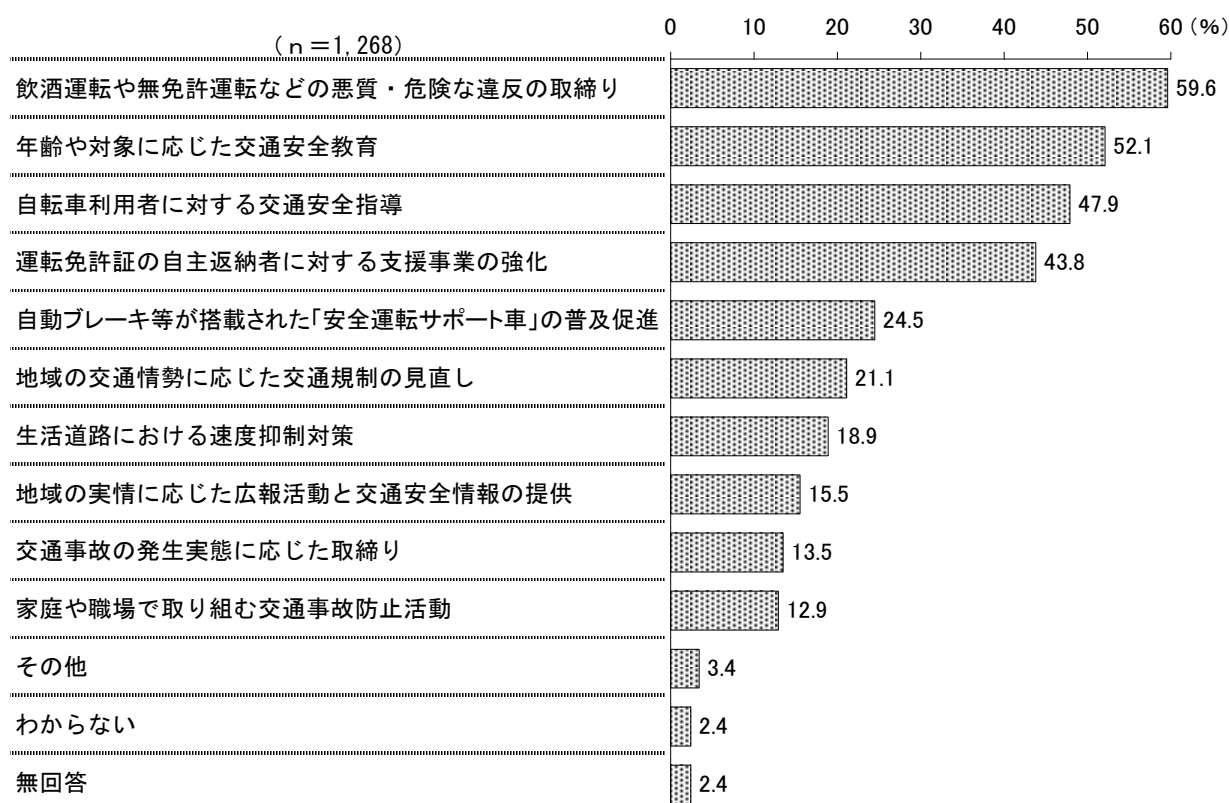
市町別で見ると、「巡回連絡などで家庭などを訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では〈町〉が36.4%と高くなっている。「交番、駐在所における在所活動」では〈宇都宮市〉が28.5%と高くなっている。「交番前や交差点などに立っての警戒活動」では〈宇都宮市〉が27.9%と高くなっている。

(4) 交通事故を抑止するための対策

問42 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

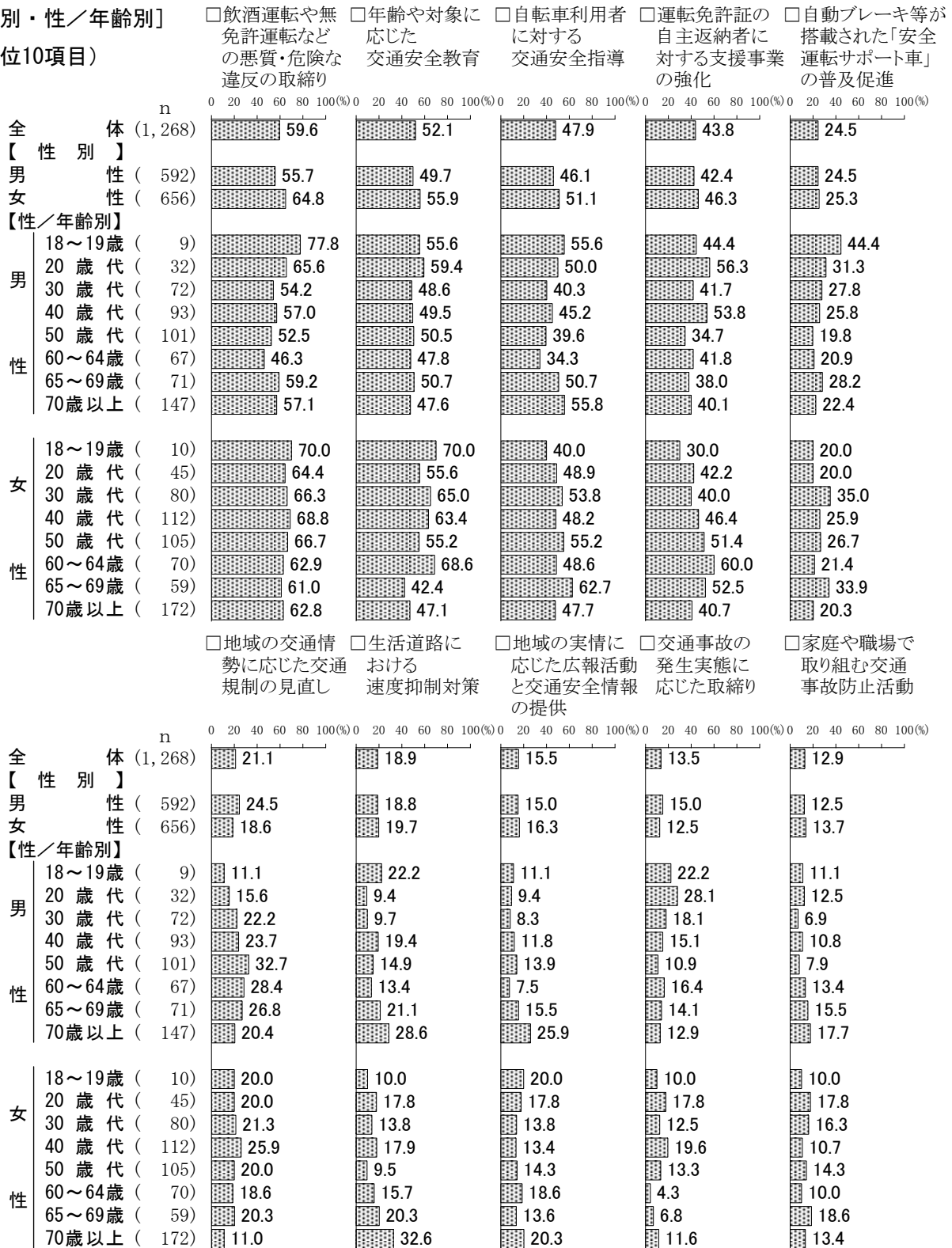
[n=1,268]

1	年齢や対象に応じた交通安全教育	52.1%
2	家庭や職場で取り組む交通事故防止活動	12.9
3	地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供	15.5
4	飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り	59.6
5	自転車利用者に対する交通安全指導	47.9
6	交通事故の発生実態に応じた取締り	13.5
7	地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し	21.1
8	生活道路における速度抑制対策	18.9
9	運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化	43.8
10	自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進	24.5
11	その他	3.4
12	わからない	2.4
	(無回答)	2.4



全体で見ると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」(59.6%)が6割で最も高く、次いで「年齢や対象に応じた交通安全教育」(52.1%)、「自転車利用者に対する交通安全指導」(47.9%)、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」(43.8%)、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」(24.5%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

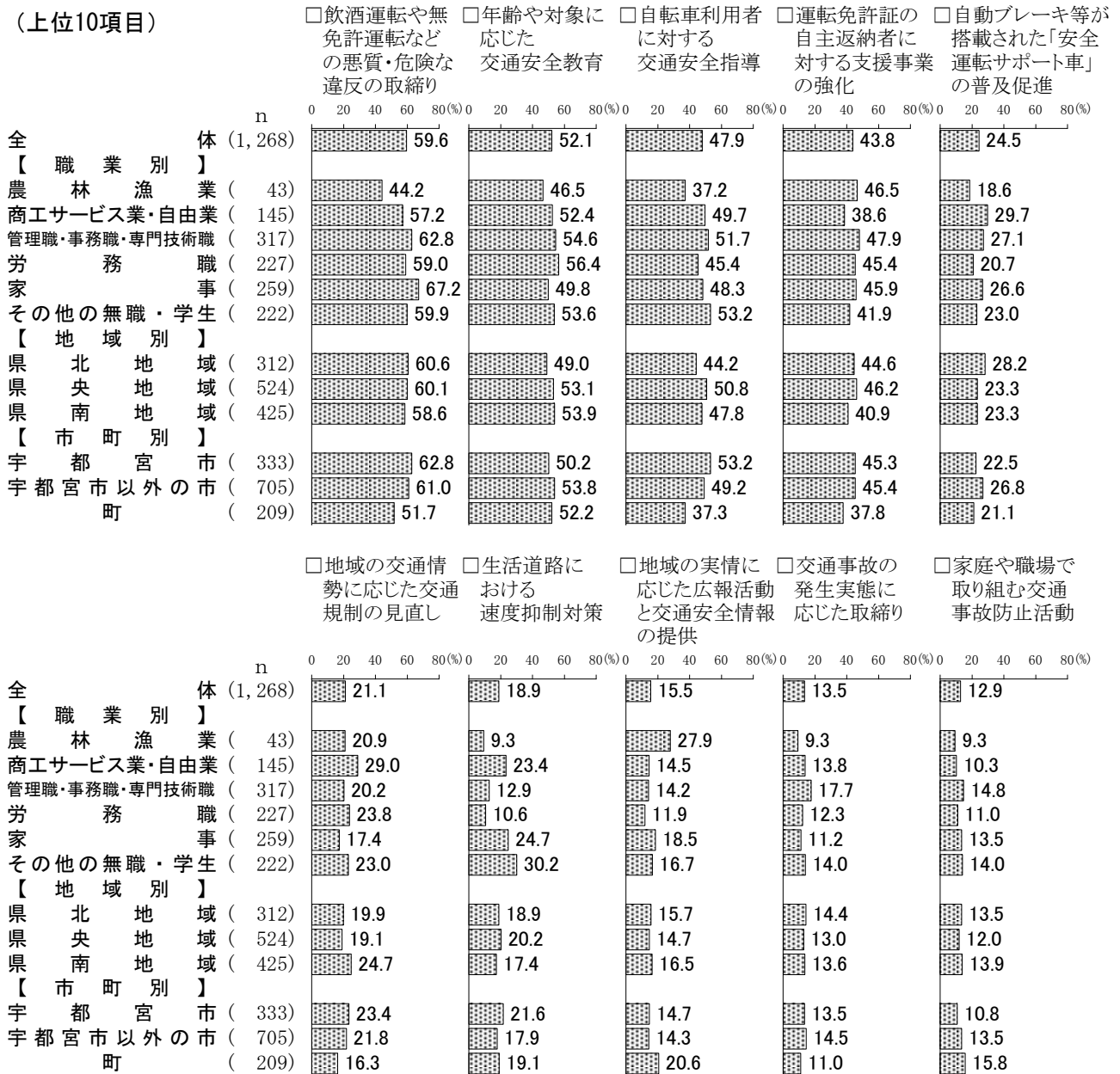


性別でみると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」では〈女性〉(64.8%)が〈男性〉(55.7%)より9.1ポイント高くなっている。「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈女性〉(55.9%)が〈男性〉(49.7%)より6.2ポイント高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈男性〉(24.5%)が〈女性〉(18.6%)より5.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈女性60~64歳〉が68.6%と高くなっている。「自転車利用者に対する交通安全指導」では〈女性65~69歳〉が62.7%と高くなっている。「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈女性60~64歳〉が60.0%と高くなっている。「生活道路における速度抑制対策」では〈女性70歳以上〉が32.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」では〈家事〉が67.2%と高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈商工サービス業・自由業〉が29.0%と高くなっている。「生活道路における速度抑制対策」では〈その他の無職・学生〉が30.2%と高くなっている。「地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供」では〈農林漁業〉が27.9%と高くなっている。

地域別でみると、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」では〈県北地域〉が28.2%と高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈県南地域〉が24.7%と高くなっている。

市町別でみると、「自転車利用者に対する交通安全指導」では〈宇都宮市〉が53.2%と高くなっている。「地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供」では〈町〉が20.6%と高くなっている。